

滝呂児童センター 事業評価表

※事業区分「1」・・・仕様書事業 「2」・・・自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H29年度	H30年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・ベビーズクラブ	月2回程度	10回以上			16	205	0	0	219	424	16	114	0	0	124	238	参加者の交流を深める事を目的に、活動中の雰囲気作りに努め、簡単なふれあい遊びや工作を中心に展開した結果、集団としてのまとまりがあるクラブになった。また親同士での交流も多く、育児に関する悩み等を話し合う場面がみられた。親同士の情報交換の場の提供として機能した。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・びびよクラブ	月2回程度	10回以上	12	13	16	253	0	0	252	505	15	228	0	0	232	460	参加幼児の発達状況に合わせた親子遊びと親子関係を深め、幼児の運動機能に合わせた遊びや季節に合わせた工作を展開。当センターが所有する遊具等を用いて日常では体験し難い遊びの提供を目的として実施した。結果、多くの利用者から高評価を得た。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・キンダークラブ(運動系) ・ちびっこクラブ(工作系)	月2回程度	10回以上			31	364	15	0	287	666	30	369	0	0	366	735	2歳児の発達及び多様化するニーズに対応し、運動系と工作系の2クラブに分け、選択肢を設けて展開。子の性格に合わせ選択し、参加出来る形式としたが、様々な体験を子にさせたいとの保護者の思いもあり、両クラブに参加する親子が多い。
	小 計					63	822	15	0	758	1595	61	711	0	0	722	1433		
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・滝っ子お話し会(毎月) ・親子であそぼう(毎月) ・パパとあそぼう(毎月) ・ママタイム ・ちゃっぶん水遊び 等	適宜	—	14	14	39	193	6	0	163	362	42	157	42	0	152	351	乳幼児クラブで行ったアンケート調査等をもとに、自由参加型事業を展開。調査により安心・安全に運動できる場が求められていた為、遊戯室内で大型遊具を使用し親子遊びを行なう「親子であそぼう」を展開。また父親の育児参加を促す「パパとあそぼう」を30年度から新たに実施。どちらの事業も気軽に参加出来るかと高評価を得ている。
	小 計						39	193	6	0	163	362	42	157	42	0	152	351	

※事業区分「1」…仕様書事業 「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H29 年度	H30 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	①一輪車クラブ	月2回程度	6回以上	14	15	17	0	307	0	0	307	13	25	256	9	13	303	児童を対象に一輪車クラブ・ボラキッズクラブの他に、29年度より来館者への口頭による調査結果を反映し、様々なスポーツに挑戦するチャレンジクラブと手芸・工作を楽しむクラブクラブを新たに設置。児童の要望に対応したクラブの設置により、申込開始日前から多くの問合せがあり反響が大きかった。定員を上回る参加希望者があり増枠して対応した。どのクラブも児童の自主性を尊重しながら、見守り・指導・補助を徹底し、児童及び保護者が安心して安全に参加出来る環境を整えている。その結果、継続して参加する児童が多く、安定したクラブ運営及び来館者の確保に繋がっている。また複合館の特性を活かし、幼児や高齢者と関わる活動を展開。異年齢及び多世代交流の場としても機能している。
		ボラキッズクラブ (子どもスタッフクラブ)	月2回程度	6回以上			15	25	150	0	14	189	12	0	178	0	0	178	
		チャレンジクラブ	月2回程度	6回以上			/	/	/	/	/	/	9	0	172	0	0	172	
		クラブトクラブ	月2回程度	6回以上			/	/	/	/	/	/	8	0	135	3	1	139	
		オセロ将棋クラブ	月1回程度	6回以上			16	1	98	0	10	109	/	/	/	/	/	/	
		② ボランティア活動 ・施設内壁面制作 ・幼児見守り体験 ・施設内外清掃活動 ・高齢者への奉仕活動 ・事業の事前準備補助	月1回程度	随時			12	1	71	2	0	74	17	2	103	0	1	106	
小 計		/	/	60	27	626	2	24	679	59	27	844	12	15	898				
児童を対象とした事業	2	③ 児童 自主事業 ・子どもスタッフ交流会(7館合同) ・滝っ子お話会(毎月) ・トランポリン(毎月) ・チャレンジ番付(毎月) ・福祉体験(年1回) ・季節行事(通年) ・一輪車交流会(太平・共栄)等	適宜	—	13	14	79	75	734	20	111	940	78	47	710	4	88	849	様々な自由参加型事業を実施。毎月実施事業「トランポリン・チャレンジ番付等」は習い事等で多忙な児童も参加出来る様に、実施曜日を月毎に変更及び同月内に複数回実施し対応。また季節行事では「デイキャンプ・お楽しみ会」といった毎年人気のある事業を展開。また自館だけでなく他館と連携し交流会を実施。校区外の児童同士の交流の場の提供及び市民へのPR活動を行った。
		小 計		/	/	79	75	734	20	111	940	78	47	710	4	88	849		

※事業区分「1」・・・仕様書事業 「2」・・・自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H29年度	H30年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・サンホーム滝呂 ふれあい夏まつり	年1回	1回以上			1	72	198	52	278	600	1	35	72	9	149	265	小学生クラブ「ボラキッズクラブ」の児童が主となり、遊びのブース・抽選会等を企画し、施設全体の夏まつりを実施。遊びのブースでは児童の提案により遊びのコーナーを増やして来場者に提供。幼児から大人まで幅広い世代の来場者の対応も児童が行った。複合施設の特徴を活かした事業を通じて児童の自主性を育むと共に、来場者へ児童センターのPR活動を行うことが出来た。
		② 移動児童館 ・陶彩の径さくらまつり(年1回) ・移動児童老人センター(年2回) ・笠原福祉まつり(年1回)	年4回	地域事情に応じて	14	13	5	74	146	15	145	380	4	113	159	20	220	512	地域自治組織主催事業へ積極的に参加し、遊びのブースを展開。また同施設内の老人福祉センターと連携し、地域内の悠光クラブと多世代交流を目的とした事業を実施した。どちらも地域との連携強化及び児童センターのPRに繋がり、移動児童センター実施後に初めて来館する市民の姿もあった。30年度の一般来館者増加の要因の一つである。
	小 計						6	146	344	67	423	980	5	148	231	29	369	777	
	2	③ 地域・多世代 自主事業 ・サンホーム滝呂ふれあいまつり(春・秋) ・多世代交流会(月1~2回) 老人センター・デイサービス合同「卓球交流会・縁日・マジックショー ・納涼お楽しみ会・敬老会等」 ・うながっばうちわ配布	適宜	—	14	15	22	113	324	47	1200	1684	26	181	425	86	1594	2286	複合施設の特徴を活かし、児童センター利用者と老人センター及びデイサービス利用者とが交流出来る「多世代交流会」を実施。児童と高齢者が対戦する卓球大会や幼児から大人まで楽しめるマジックショー等、多岐にわたり企画し実施。地域交流事業としては施設全体のふれあいまつりを開催。校区内外の市民が来場し、当センターのPRに繋がった。29年度と比較し、実施回数を多くした結果、参加人数の増加に繋がった。
						22	113	324	47	1200	1684	26	181	425	86	1594	2286		

※事業区分「1」・・・仕様書事業 「2」・・・自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H29 年度	H30 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
中高生事業	1	① 中高生ボランティア ・児童センター事業実施時の補助 (陶彩の径さくらまつり・ちゃっぷん 水遊び・ふれあいまつり)	適宜	3回以上	13	14	13	0	0	55	0	55	5	0	0	50	0	50	多治見中学校と連携し、地域内の中学生にボランティア活動の場を提供。複合施設の特徴を活かし、幼児から高齢者までの幅広い世代の市民と触れ合う活動を実施。部活動や習い事の為、実施日に参加がない日もあった。実施回数は29年度と比較し減少しているが、1回の受入人数を多く設定し、また生徒が再度参加したいと思えるように活動中の雰囲気作りに努めた結果、参加人数は29年度と比較し維持できている。
	小 計						13	0	0	55	0	55	5	0	0	50	0	50	
	2	② 中高生 自主事業 ・中学生スポチャレ(毎月)	適宜	—	14	15	5	0	18	10	0	28	13	1	57	29	2	89	中高生の居場所作りを目的として難易度の高い運動遊びを中心とした事業を実施。多忙な中高生の参加を促す為に実施日を月毎に変更して提供。また来館した中学生への口頭による調査の結果、日曜日が参加しやすいとの意見を得ることが出来た。年度途中からは実施日を日曜日に設定。また、次世代の中高生になる児童の参加も可能として展開。中高生の居場所だけでなく、実施日に共に参加している幼児・児童と交流する場としても機能した。
	小 計						5	0	18	10	0	28	13	1	57	29	2	89	

※事業区分「1」…仕様書事業「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H29 年度	H30 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業 ・子育て相談日(毎月)	月1回	月1回以上			12	3	0	0	3	6	12	15	2	0	11	28	子育てに不安を抱える保護者の不安の軽減を目的に毎月1回子育て相談日を設置。保護者との信頼関係が成立していないと相談に訪れない。来館者に対して常に丁寧に接する事に努めた結果、保護者と信頼関係が構築され相談窓口としての機能を果たした。相談日以外にも常時窓口を設けており、年間で52件の相談を受けた。その中で関係機関に繋げた事案は0件であった。
		② 講習・講演・他連携 ・わんぱくまつり ・赤い羽根共同募金配分金事業 「どすこい児童館すもう体験」 ・歳末助け合い募金配分金事業 「猿回し シゲ&モンタ」	年3回	2回以上	13	14	4	27	30	1	41	99	3	26	42	5	47	120	多治見ボーイスカウトと連携し「わんぱくまつり」を実施。事業のPRの際には、民生委員に協力を依頼し、子育て支援の場である児童センターの存在を市民へアピールした。また、市内の子どもを対象に社会福祉協議会が運営する7館の児童館・センターで連携し当センター単独では実施し難い大規模な事業を実施し日常では体験し難い内容の催しを提供した。
		② 母親クラブ ・防災訓練 ・おもちゃ点検 ・救急講座 (保護者向け、子ども向け) ・出張講座 (クッキング、インボディ測定等) ・クリスマス会 等	適宜	随時			20	91	37	0	150	278	18	138	59	2	204	403	母親クラブの会員数拡大の為に、当センター事業内でPR活動を行った。その結果10名を超える新規会員加入に繋がった。母親クラブが主催する事業の活動支援として活動の場及び遊び等を提供。活動後は、意見交換やアドバイス等を行い連携を深めた。当センターの役割を果たすことで、安定したクラブ運営へと繋がっている。
	小 計						36	121	67	1	194	383	33	179	103	7	262	551	
	2	③ 子育て 自主事業 ・YYスマイルサロン ・なないろひろば	月1回程度	—	14	15	12	11	28	21	60	120	20	52	28	24	122	226	集団活動に不安を感じている乳幼児親子を対象に少人数制の集団活動の場「なないろひろば」、障がいを持つ幼児から高校生までが自由に活動出来る場「YYスマイルサロン」を実施。どちらも子が安心・安全に活動するだけでなく、育児に不安を抱える保護者の不安軽減及び保護者同士の情報交換の場として機能している。
小 計						12	11	28	21	60	120	20	52	28	24	122	226		

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。 1: 取消等を検討、2: 不備が目立つ、3: 若干不備あり、4: 良好、5: 期待以上